



2015年3月期 第1四半期決算概要

2014年7月31日
株式会社プロトコーポレーション (4298)

連結主要データ

発行済株式総数(百万株)		20.9
時価総額(億円)	※2014年6月末	313.0
1株当たり年間配当(円)	※2015年3月期予想	38.0
1株当たり当期純利益(円)	※2015年3月期予想	156.37
1株当たり純資産(円)	※2014年3月期実績	1,280.38
ROE(%)当期純利益ベース	※2014年3月期実績	10.5
ROA(%)経常利益ベース	※2014年3月期実績	12.7
自己資本比率(%)	※2014年3月期実績	59.6
潜在株式数		-
外国法人等の株式保有比率(%)	※2014年6月末	24.2

大株主(上位10名)

	(千株)
1)株式会社夢現	6,807 (32.50%)
2) JPMCC Client Safekeeping Account	1,186 (5.66%)
3)横山博一	840 (4.01%)
4) JP Morgan Chase Bank 385632	568 (2.71%)
5) BBH for Fidelity Low-Priced Stock Fund(Principal All Sector Subportfolio)	500 (2.38%)
6) 日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社	498 (2.38%)
7) 株式会社プロトコーポレーション	494 (2.36%)
8) 横山順弘	404 (1.92%)
9) Clearstream Banking SA	384 (1.83%)
10) 齊藤実	340 (1.62%)

(2014年6月30日現在)

連結損益計算書 (1)



連結損益の状況

(単位:百万円)

	2014年3月期 第1四半期		2015年3月期 第1四半期				前期対比		計画対比	
	実績 (A)	売上比	計画 (B)	売上比	実績 (C)	売上比	(C) - (A)	%	(C) - (B)	%
売上高	13,808	100.0%	13,269	100.0%	① 12,200	100.0%	△ 1,608	88.4%	△ 1,069	91.9%
売上原価	8,459	61.3%	7,980	60.1%	7,087	58.1%	△ 1,371	83.8%	△ 892	88.8%
売上総利益	5,349	38.7%	5,289	39.9%	5,112	41.9%	△ 236	95.6%	△ 176	96.7%
販売費及び一般管理費	4,022	29.1%	4,184	31.5%	3,855	31.6%	△ 167	95.8%	△ 328	92.1%
EBITDA	1,718	12.4%	1,554	11.7%	1,694	13.9%	△ 25	98.5%	140	109.0%
営業利益	1,326	9.6%	1,105	8.3%	1,257	10.3%	△ 69	94.8%	151	113.7%
経常利益	1,398	10.1%	1,123	8.5%	1,305	10.7%	△ 92	93.4%	182	116.3%
四半期純利益	761	5.5%	649	4.9%	② 973	8.0%	212	127.8%	324	150.1%

* EBITDAは、「営業利益+減価償却費+のれん償却額」にて算出しております。

販売費及び一般管理費の状況

(単位:百万円)

	2014年3月期 第1四半期		2015年3月期 第1四半期				前期対比		計画対比	
	実績 (A)	売上比	計画 (B)	売上比	実績 (C)	売上比	(C) - (A)	%	(C) - (B)	%
販売費及び一般管理費	4,022	29.1%	4,184	31.5%	3,855	31.6%	△ 167	95.8%	△ 328	92.1%
人件費	1,777	12.9%	1,873	14.1%	1,797	14.7%	20	101.1%	△ 75	96.0%
広告宣伝費関連	673	4.9%	680	5.1%	606	5.0%	△ 66	90.2%	△ 73	89.2%
その他経費	1,571	11.4%	1,630	12.3%	1,450	11.9%	△ 121	92.3%	△ 179	89.0%
社員数	1,284	-	1,396	-	1,340	-	56	104.4%	△ 56	96.0%

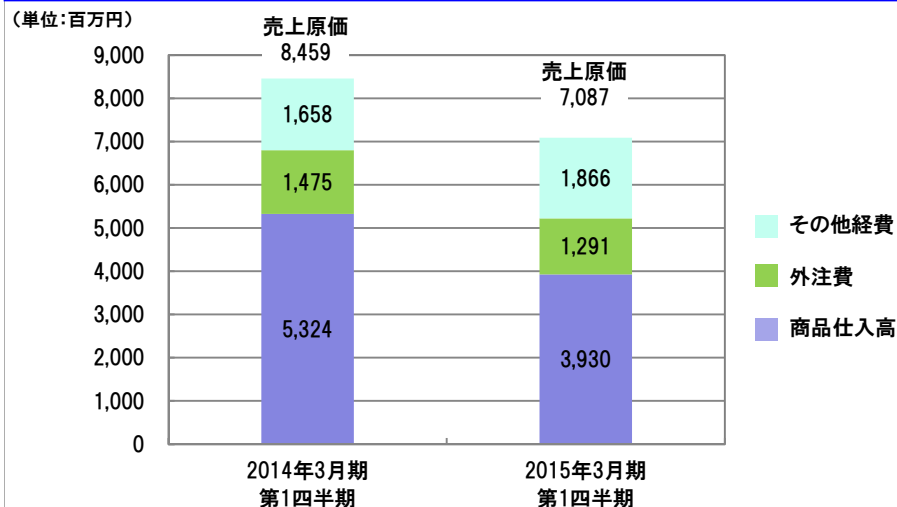
Point ① 売上高 主に自動車関連情報において、㈱キングスオートの中古車輸出台数は前年同期比110.2%となったものの、高額車両の輸出台数が減少したことから、同社の売上高は減収となりました。また、消費税増税の反動減の影響により、輸入タイヤ販売を手掛ける㈱オートウェイにおいてタイヤ販売数量が減少したことなどから、前年同期対比はグループ全体で1,608百万円の減収(前年同期対比88.4%)となりました。

また、計画対比におきましても、主に㈱オートウェイのタイヤ販売数量が計画を下回ったことなどから、グループ全体で91.9%となりました。

Point ② 四半期純利益 PROTO SINGAPOREの清算結了に伴い、子会社清算益214百万円が発生したことから、グループ全体で212百万円の増益(前年同期対比127.8%)となりました。

2015年3月期 第1四半期 業績概況

売上原価の推移



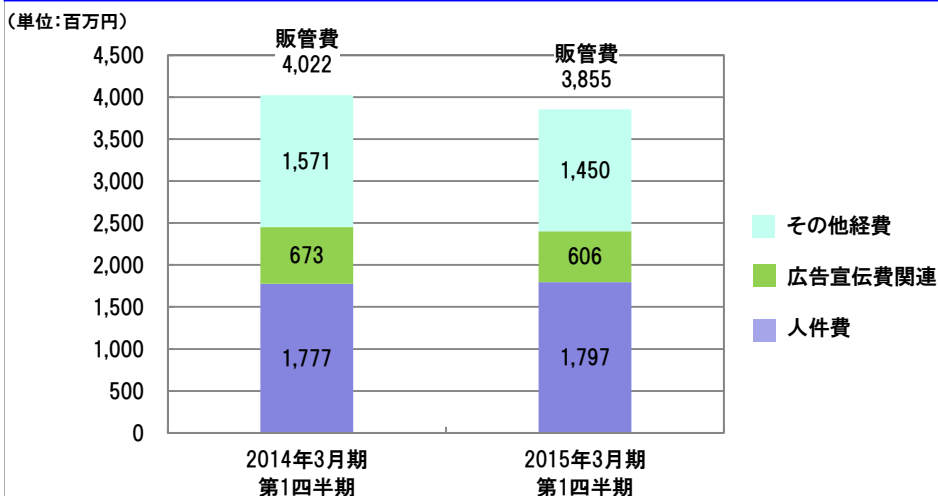
売上原価

商品仕入高については、主に㈱キングスオート(809百万円減)及び㈱オートウェイ(347百万円減)における商品仕入高が減少した結果、グループ全体で1,393百万円の減少(前年同期対比73.8%)となりました。

外注費については、主に㈱プロトコーポレーションにおけるインターネット広告代理事業(2014年3月末事業撤退)の外注費が減少したことに伴い、グループ全体で184百万円の減少(前年同期対比87.5%)となりました。

その他経費については、主に㈱プロトメディカルケアにおける社員数の増加等により、グループ全体で207百万円の増加(前年同期対比112.5%)となりました。この結果、売上原価については前年同期対比83.8%(原価率:3.2ポイント低下)となりました。また、計画対比では、主に㈱オートウェイのタイヤ販売数量が計画を下回ったことなどから、グループ全体で88.8%となりました。

販売費及び一般管理費の推移



販売費及び一般管理費

人件費については、主に㈱プロトリオスの社員数増加に伴い、グループ全体で20百万円の増加(前年同期対比101.1%)となりました。

広告宣伝費関連については、主に㈱オートウェイにおいてWEBプロモーションの効率化を図ったことなどから、グループ全体で66百万円の減少(前年同期対比90.2%)となりました。

その他経費については、主に㈱オートウェイにおいて、売上高の減少に伴い、業務委託費、支払手数料等が減少したことなどから、グループ全体で121百万円の減少(前年同期対比92.3%)となりました。

この結果、販売費及び一般管理費については前年同期対比95.8%(販売管理费率:2.5ポイント上昇)となりました。また、計画対比では、㈱オートウェイの販管費に加え、㈱プロトコーポレーションにおける人件費が計画を下回ったことから、グループ全体で92.1%となりました。

セグメント別事業概況 (1)



■ 売上高

(単位:百万円)

	2014年3月期 第1四半期		2015年3月期 第1四半期			
	実績 (A)	構成比	計画 (B)	構成比	実績 (C)	構成比
自動車関連情報	12,723	92.1%	12,231	92.2%	11,145	91.4%
情報登録・掲載料	5,038	36.5%	5,062	38.1%	5,025	41.2%
情報提供料	7,685	55.7%	7,169	54.0%	6,119	50.2%
生活関連情報	828	6.0%	822	6.2%	823	6.7%
不動産	41	0.3%	35	0.3%	40	0.3%
その他	215	1.6%	180	1.4%	191	1.6%
合計	13,808	100.0%	13,269	100.0%	12,200	100.0%

前期対比		計画対比	
(C) - (A)	%	(C) - (B)	%
△ 1,578	87.6%	△ 1,086	91.1%
△ 12	99.7%	△ 36	99.3%
△ 1,565	79.6%	△ 1,049	85.4%
△ 4	99.4%	1	100.1%
△ 0	98.4%	4	113.3%
△ 24	88.8%	10	106.0%
△ 1,608	88.4%	△ 1,069	91.9%

- 1) 情報登録・掲載料 情報誌・ネットメディアへの広告掲載等
 2) 情報提供料 情報誌販売、コンテンツ提供、中古車輸出支援サービス、EC(輸入タイヤ・バイクパーツ販売)等

■ 営業利益

(単位:百万円)

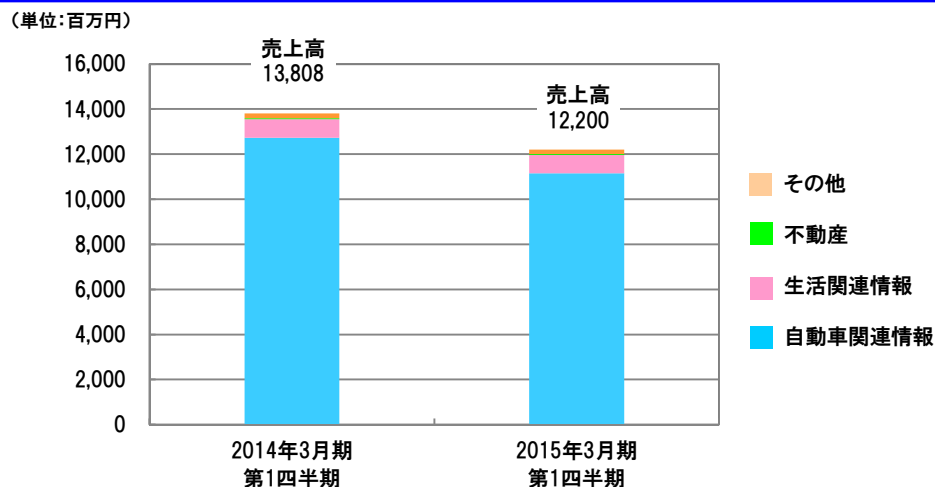
	2014年3月期 第1四半期		2015年3月期 第1四半期			
	実績 (A)	利益率	計画 (B)	利益率	実績 (C)	利益率
自動車関連情報	1,752	13.8%	1,536	12.6%	1,619	14.5%
生活関連情報	37	4.6%	45	5.5%	73	9.0%
不動産	23	57.2%	△ 6	-	22	55.1%
その他	△ 58	-	△ 6	-	△ 39	-
管理部門	△ 428	-	△ 463	-	△ 419	-
合計	1,326	9.6%	1,105	8.3%	1,257	10.3%

前期対比		計画対比	
(C) - (A)	%	(C) - (B)	%
△ 132	92.4%	83	105.4%
36	196.0%	28	162.8%
△ 1	94.9%	28	-
18	-	△ 32	-
9	-	44	-
△ 69	94.8%	151	113.7%

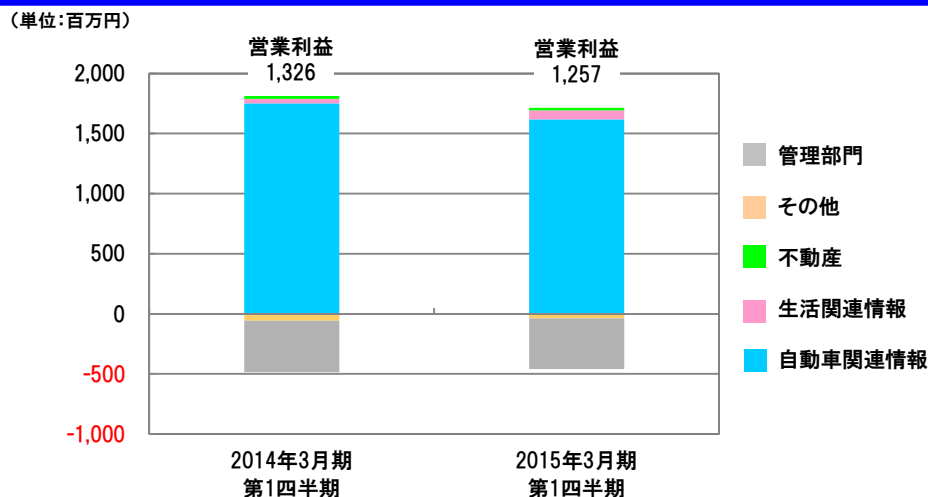
セグメント別事業概況 (2)



セグメント別 売上高の推移



セグメント別 営業利益の推移



自動車関連情報

第1四半期における中古車販売店の経営環境については消費税増税の反動減の影響により厳しい状況で推移しました。

情報登録・掲載料については、「MOTOR GATE」の拡販を推進したことによりGooシリーズは堅調に推移したものの、PROTO MALAYSIAにおける広告売上が減収となったことなどから、12百万円の減収(前年同期対比99.7%)となりました。また、情報提供料については、(株)キングスオートにおいて高額車両の中古車輸出台数が減少したことにより、820百万円の減収(同66.7%)となったことに加え、消費税増税の反動減の影響により、(株)オートウェイのEC売上(輸入タイヤ販売)が582百万円の減収(同81.3%)となったことなどから、情報提供料の売上高は1,565百万円の減収(同79.6%)となりました。

営業利益については、主に(株)オートウェイのEC売上及びPROTO MALAYSIAの広告売上が減少したことに加え、(株)プロトコーポレーションにおいて、新規事業である「GooPLUS」「GooPit」への先行投資が発生したことなどから、132百万円の減益(同92.4%)となりました。

生活関連情報

(株)プロトメディカルケアについては、医療・介護・福祉分野における広告事業ならびに福祉用具のレンタルサービス事業等が堅調に推移し、増収増益となりました。しかしながら、(株)プロトコーポレーションにおいて2014年3月に撤退したインターネット広告代理事業の影響により、157百万円の減収となったことなどから、生活関連情報全体の売上高は4百万円の減収(前年同期対比99.4%)となりました。

一方、営業利益については、(株)プロトメディカルケアが堅調に推移したことに加え、不採算事業からの撤退により、36百万円の増益(同196.0%)となりました。

その他

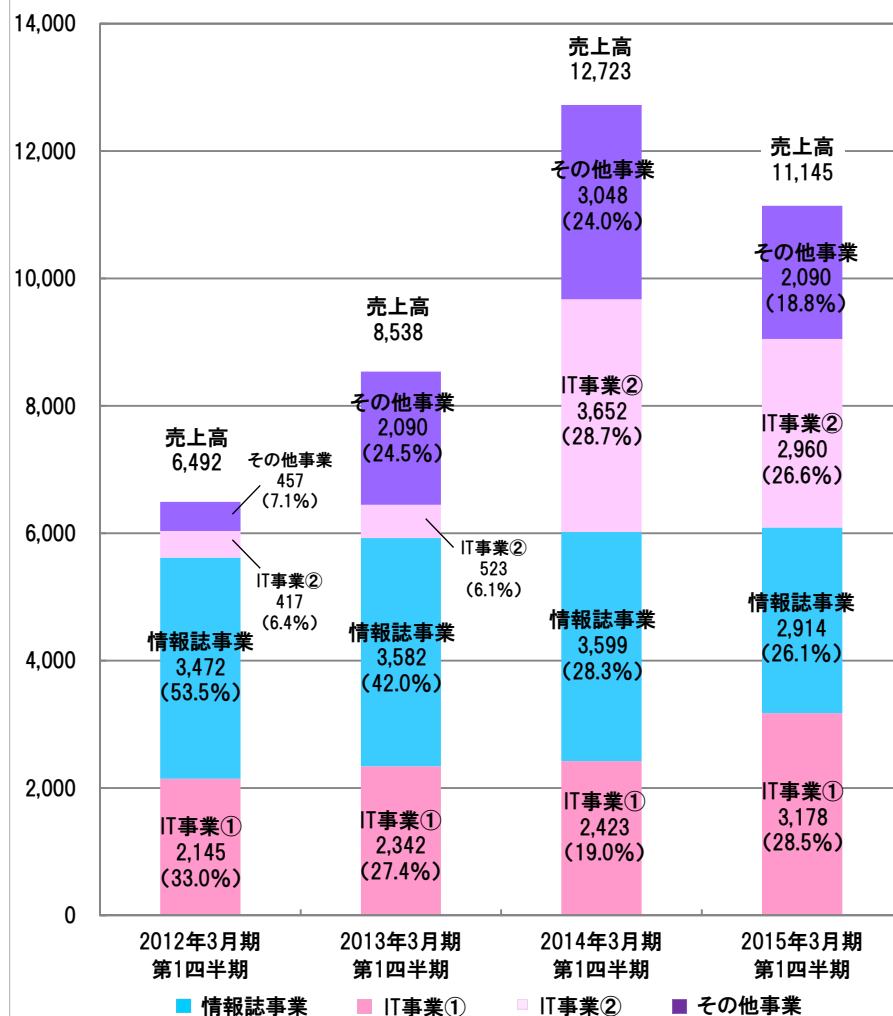
主に(株)プロトコーポレーションにおいて、2013年12月に撤退したソーシャルゲーム事業の影響により、売上高は24百万円の減収(前年同期対比88.8%)となりました。また、営業利益については、不採算事業からの撤退などにより、39百万円の損失(前年同期は58百万円の損失)となりました。

自動車関連情報の事業概況 (1)



自動車関連情報:商品区分別売上高の推移

(単位:百万円) ※カッコ内は構成比



情報誌事業

主に当期より一部のエリアにおいて、Gooシリーズの料金体系を変更(情報誌事業からIT事業へのシフト)したことなどから、情報誌事業全体の売上高は685百万円の減収(前年同期対比81.0%)となりました。

IT事業① (MOTOR GATE利用料、BtoBデータサービス等)

前述のとおり、Gooシリーズの料金体系を変更したに加え、「MOTOR GATE」の拡販による取引社数の増加、㈱プロトリオスにおける業務支援システムの拡販などにより、IT事業①の売上高は755百万円の増収(前年同期対比131.2%)となりました。

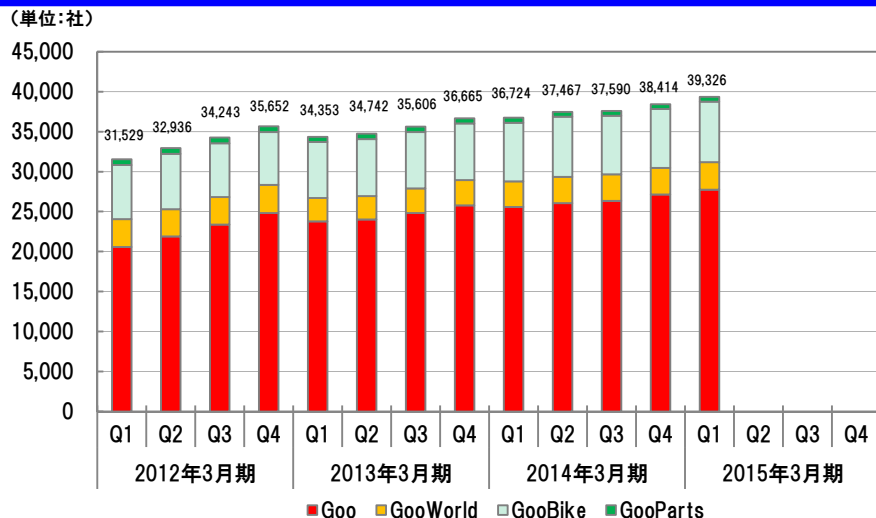
IT事業② (EC)

主に輸入タイヤ販売を手掛ける㈱オートウェイにおいて、消費税増税の反動減の影響により、法人向けのタイヤ販売数量が前年を下回ったことなどから、IT事業②の売上高は691百万円の減収(前年同期対比81.1%)となりました。

その他事業 (Goo鑑定・中古車輸出支援サービス等)

主に㈱キングスオートの中古車輸出事業において、高額車両の輸出台数が減少したことに加え、㈱プロトコーポレーションにおいてGoo買取事業から撤退したことなどから、その他事業の売上高は957百万円の減収(前年同期対比68.6%)となりました。

Gooシリーズ 四半期累計取引社数の推移



Gooシリーズ四半期累計取引社数の推移

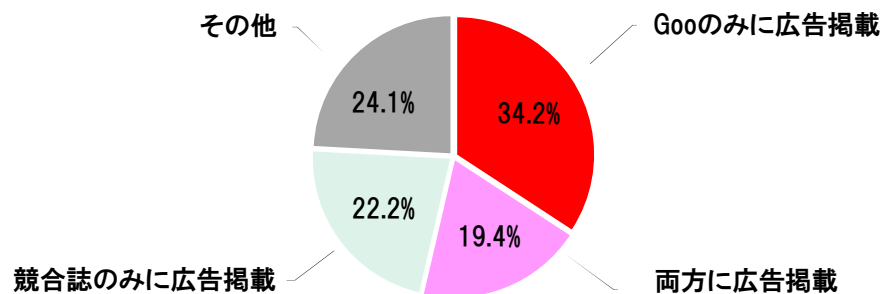
Gooシリーズ全体の当期累計取引社数(4-6月累計)は前年同期対比107.1%と増加いたしました。

また、当期累計期間(4-6月)における1ヶ月あたりの平均取引単価については、小規模販売店の増加等が影響した結果、前年同期対比93.7%となりました。

マーケットシェアの状況(競合比較)

マーケットシェアにおいては、前期末に比べ、Gooのみに掲載いただく会社が0.2ポイント増加、両方に掲載いただく会社が1.9ポイント減少し、全体で1.7ポイント減少しました。また、競合誌のみに広告掲載している会社については1.5ポイント減少しました。

マーケットシェアの状況(競合比較)



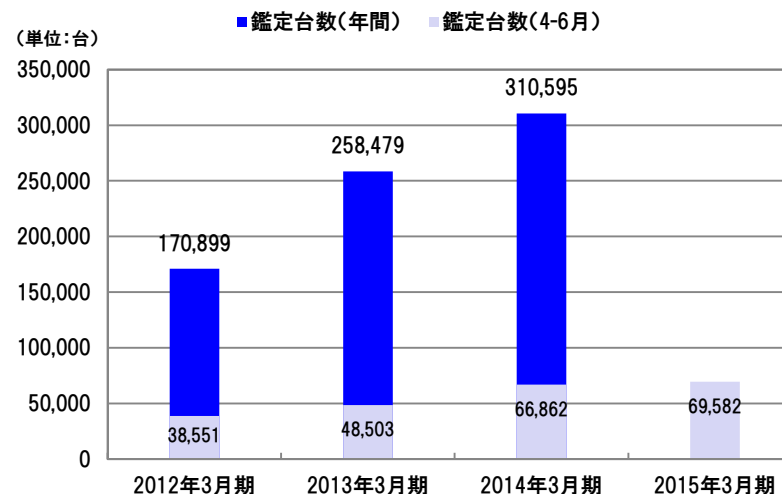
* 競合誌：カーセンサー（但し、四国はMjマガジン、沖縄はクロスロード）

* 数値は全エリアを対象として集計しております。

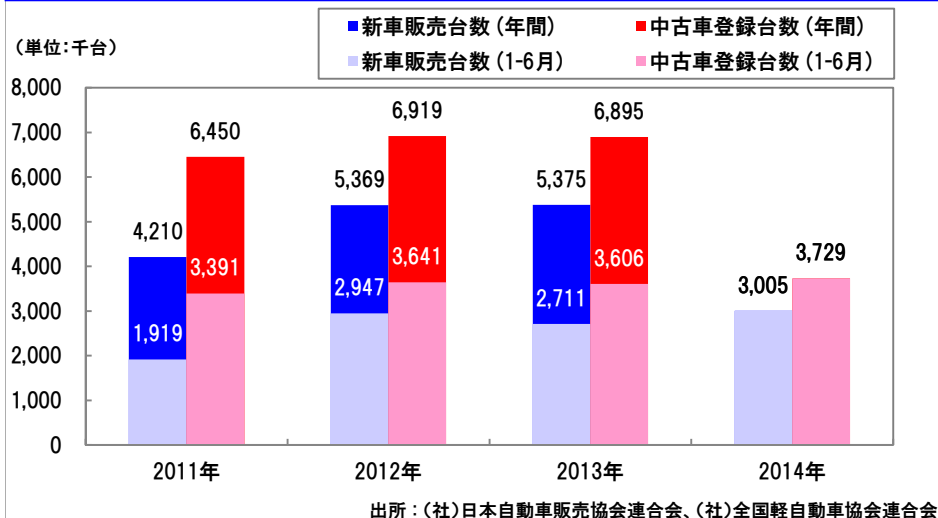
* 取引社数の集計基準：情報誌に広告を掲載した中古車販売店数

(2014年6月時点・当社調べ)

Goo鑑定台数の推移



新車販売台数・中古車登録台数の推移(暦年ベース)



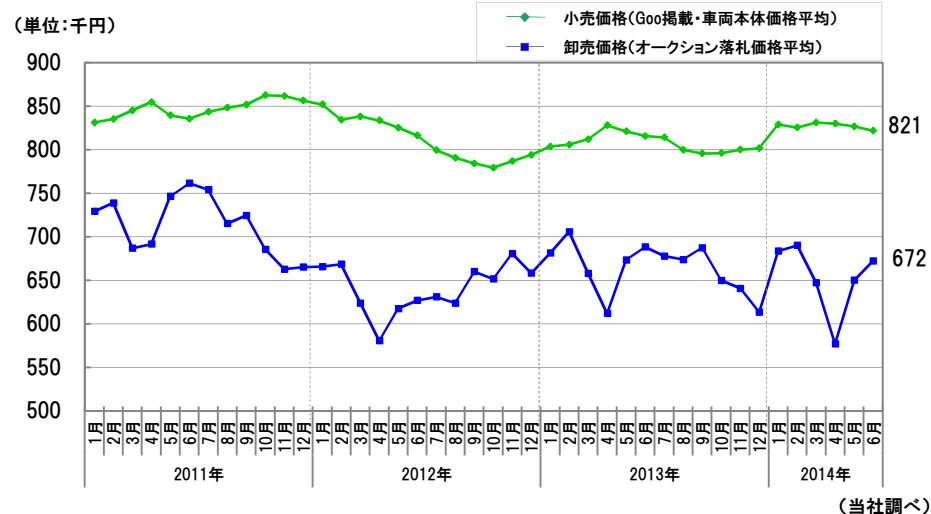
新車販売台数

2013年(1-12月累計)の新車販売台数は537万台となりました。
(前年同期対比100.1%)
2014年(1-6月累計)の新車販売台数は300万台となりました。
(前年同期対比110.8%)

中古車登録台数

2013年(1-12月累計)の中古車登録台数は689万台となりました。
(前年同期対比99.7%)
2014年(1-6月累計)の中古車登録台数は372万台となりました。
(前年同期対比103.4%)

中古車小売・卸売平均価格の推移



中古車の小売・卸売平均価格の推移

エコカー補助金の終了後、小売平均価格は80万円前後で推移しております。
また、卸売平均価格は65万円前後で推移しております。

【参考:エコカー補助金】

1.第1期:エコカー補助金

2009年4月10日～2010年9月7日 :予算枠5,837億円、スクラップインセンティブあり

2.第2期:エコカー補助金

2011年12月20日～2012年9月21日:予算枠3,000億円、スクラップインセンティブなし

連結貸借対照表



(単位:百万円)

	2014年3月期 (期末)		2015年3月期 (第1四半期末)		増減 (B) - (A)
	(A)	構成比	(B)	構成比	
流動資産	22,815	52.0%	21,120	50.6%	① △ 1,694
固定資産	21,091	48.0%	20,638	49.4%	② △ 453
流動負債	13,174	30.0%	11,100	26.6%	③ △ 2,074
固定負債	4,554	10.4%	4,150	9.9%	④ △ 404
純資産	26,177	59.6%	26,507	63.5%	330
総資産	43,907	-	41,759	-	△ 2,148

Point ① 流動資産の減少 (2014年3月期 期末対比 1,694百万円減)

主に借入金の返済を始め、未払法人税等の支払いが発生したことから現金及び預金が減少いたしました。また、㈱オートウェイの商品在庫の適正化によってたな卸資産が減少したことなどにより、前連結会計年度末と比較し1,694百万円減少しております。

Point ② 固定資産の減少 (2014年3月期 期末対比 453百万円減)

主に減価償却費及びのれん償却額の計上などにより、前連結会計年度末と比較して453百万円減少しております。

Point ③ 流動負債の減少 (2014年3月期 期末対比 2,074百万円減)

主に法人税等の納付による未払法人税等の減少と、㈱オートウェイ及び㈱キングスオートの短期借入金等の返済などにより、前連結会計年度末と比較して2,074百万円減少しております。

Point ④ 固定負債の減少 (2014年3月期 期末対比 404百万円減)

㈱オートウェイ及び㈱キングスオートの長期借入金の返済などにより、前連結会計年度末と比較して404百万円減少しております。

連結キャッシュ・フロー計算書



(単位:百万円)

	2014年3月期 (第1四半期)	2015年3月期 (第1四半期)	増減	(参考) 2014年3月期
営業活動によるキャッシュ・フロー	△ 105	① 1,667	1,772	4,235
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 4,538	② △ 122	4,416	△ 5,294
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 290	③ △ 2,046	△ 1,756	△ 2,720
現金及び現金同等物の期末残高	9,830	10,604	774	11,097
投資額(有形・無形固定資産*)	4,437	86	△ 4,351	5,715
減価償却費(有形・無形固定資産)	164	209	45	819
のれん償却額	228	227	△0	928

* 投資額には、有形・無形固定資産取得額、及びのれんを含みます。

Point ① 営業活動によるキャッシュ・フロー

税金等調整前当期純利益が1,525百万円、減価償却費、のれん償却額などの支出を伴わない費用が437百万円、株式会社オートウェイ及び株式会社キングスオートの在庫適正化に伴うたな卸資産の減少640百万円、売上債権の減少489百万円が発生した一方、法人税等の支払による支出が1,575百万円発生したことなどから、1,667百万円の収入となりました。

Point ② 投資活動によるキャッシュ・フロー

事業の譲り受けによる支出が33百万円、固定資産の取得による支出が84百万円発生したことなどから、122百万円の支出となりました。

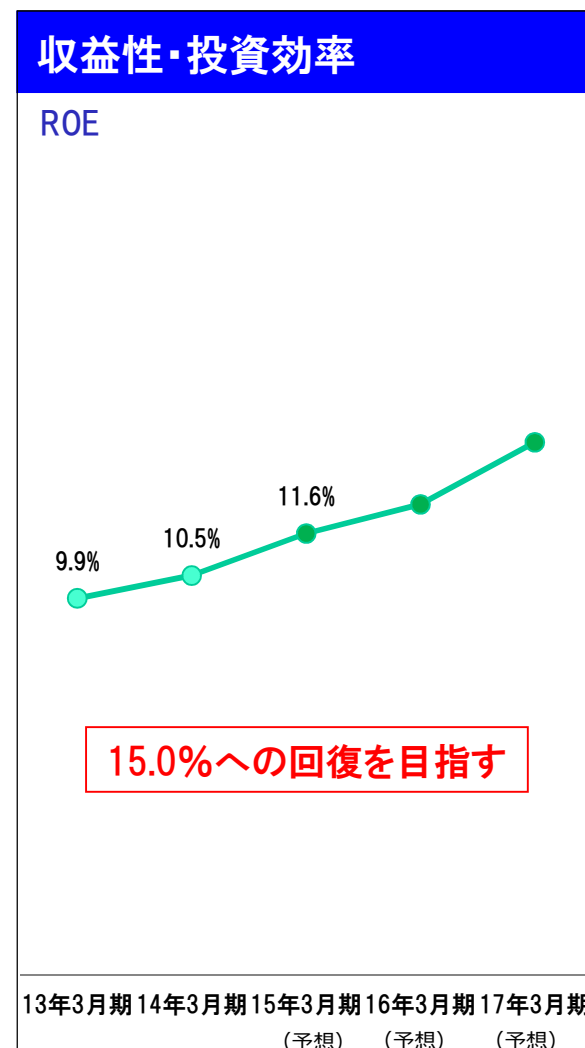
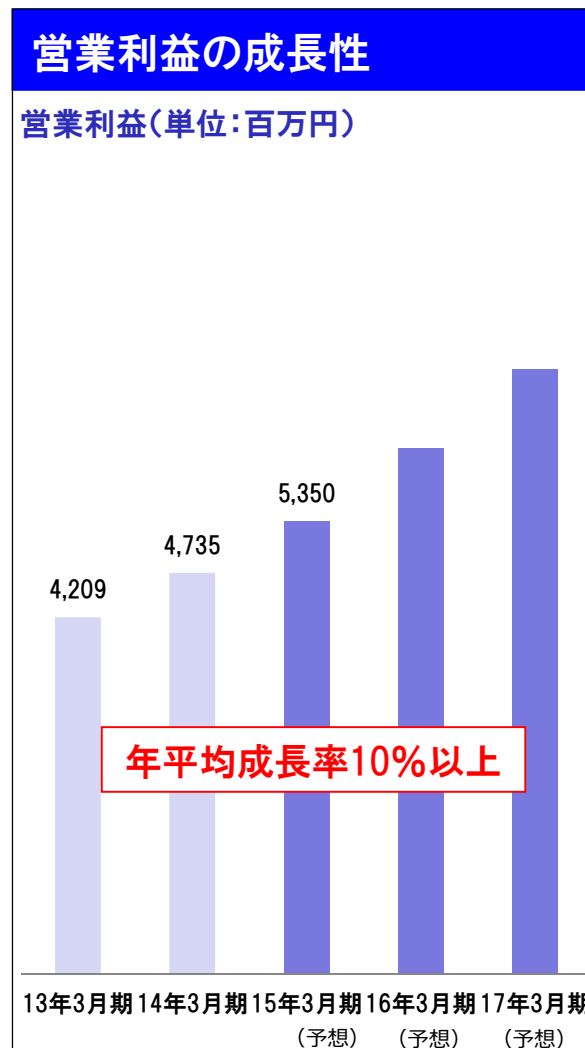
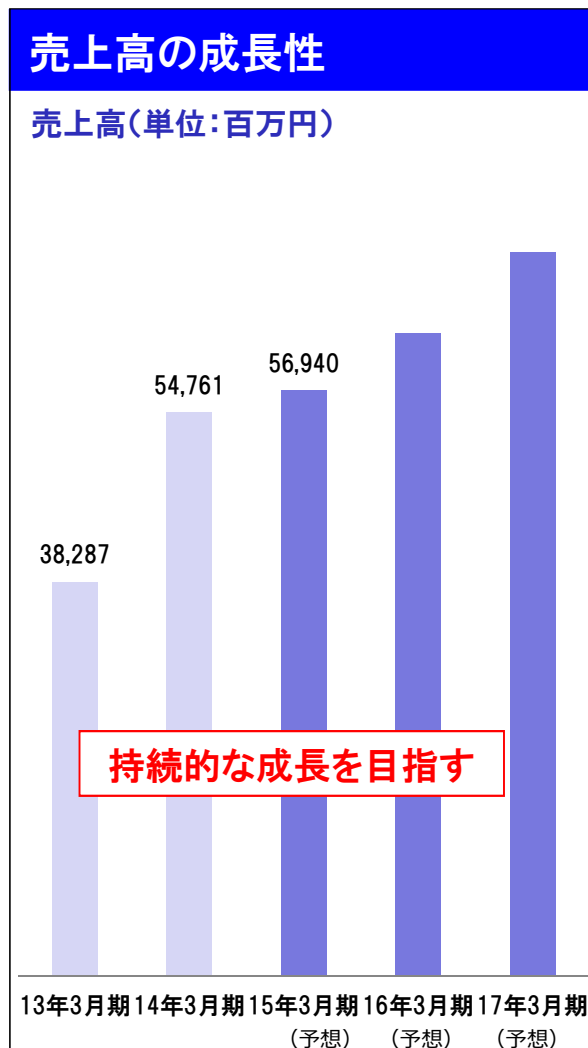
Point ③ 財務活動によるキャッシュ・フロー

短期・長期借入金の減少が1,674百万円、当社において前期期末配当金の支払が372百万円発生したことにより、2,046百万円の支出となりました。

業績見通しサマリー

*業績見通しは、2014年5月12日公表の数値であります。

■ 売上高・営業利益の成長性ととも、ROEの改善を最重要指標と位置付け、事業展開を推進します



参考:EBITDA・調整後当期純利益推移



(単位:百万円)

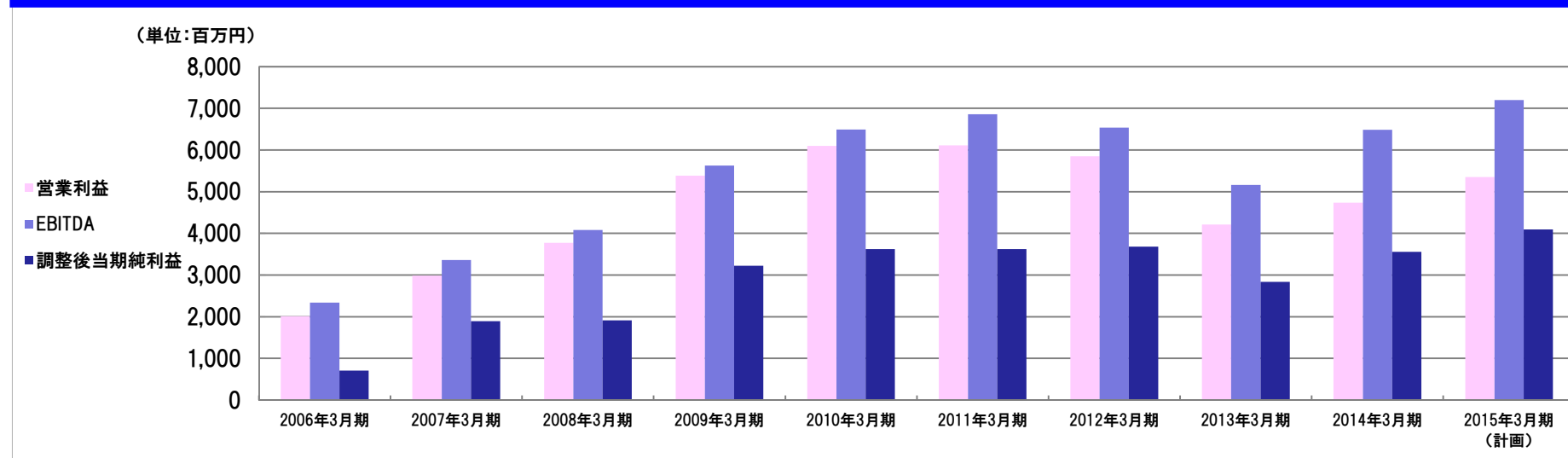
	2006年3月期	2007年3月期	2008年3月期	2009年3月期	2010年3月期	2011年3月期	2012年3月期	2013年3月期	2014年3月期	2015年3月期 (計画)*3
売上高	19,952	21,238	22,893	23,657	25,682	28,779	30,582	38,287	54,761	56,940
営業利益	2,010	2,988	3,771	5,384	6,098	6,111	5,846	4,209	4,735	5,350
当期純利益	598	1,766	1,838	3,187	3,529	3,197	3,275	2,290	2,627	3,197
EBITDA*1	2,337	3,360	4,078	5,628	6,490	6,856	6,540	5,161	6,483	7,201
調整後当期純利益*2	707	1,890	1,915	3,223	3,621	3,620	3,680	2,836	3,555	4,095
減価償却費	217	247	230	207	299	322	288	404	819	952
のれん償却額	109	124	77	36	91	422	405	546	928	898

*1 EBITDAは、「営業利益+減価償却費+のれん償却額」にて算出しております。

*2 調整後当期純利益は、「当期純利益+のれん償却額」にて算出しております。

*3 2015年3月期の業績予想は、2014年5月12日公表の数値であります。

営業利益・EBITDA・調整後当期純利益の年次推移



参考:2015年3月期 四半期連結業績予想



(単位:百万円)

	2013年3月期(実績)					2014年3月期(実績)					2015年3月期(計画)				
	第1Q	第2Q	第3Q	第4Q	合計	第1Q	第2Q	第3Q	第4Q	合計	第1Q	第2Q	第3Q	第4Q	合計
売上高	9,599	9,600	9,420	9,667	38,287	13,808	13,915	13,796	13,240	54,761	13,269	13,551	15,067	15,051	56,940
売上原価	5,007	5,093	5,029	5,505	20,636	8,459	8,717	8,468	7,870	33,514	7,980	8,059	9,275	9,070	34,386
売上総利益	4,591	4,507	4,390	4,161	17,650	5,349	5,198	5,328	5,370	21,246	5,289	5,491	5,792	5,980	22,554
販売費及び一般管理費	3,006	3,124	3,171	4,138	13,440	4,022	4,068	4,163	4,256	16,510	4,184	4,146	4,368	4,504	17,204
営業利益	1,585	1,382	1,218	23	4,209	1,326	1,130	1,165	1,114	4,735	1,105	1,344	1,424	1,475	5,350
経常利益	1,602	1,450	1,263	54	4,371	1,398	1,213	1,266	1,131	5,009	1,123	1,361	1,446	1,498	5,430
四半期(当期)純利益	1,082	657	670	△ 120	2,290	761	551	712	601	2,627	649	795	856	895	3,197

※ 売上原価は、返品調整引当金戻入額及び繰入額を加味した数値であります。

	2013年3月期(実績)					2014年3月期(実績)					2015年3月期(計画)				
	第1Q	第2Q	第3Q	第4Q	合計	第1Q	第2Q	第3Q	第4Q	合計	第1Q	第2Q	第3Q	第4Q	合計
売上高	9,599	9,600	9,420	9,667	38,287	13,808	13,915	13,796	13,240	54,761	13,269	13,551	15,067	15,051	56,940
自動車関連情報	8,538	8,256	8,214	8,677	33,687	12,723	12,680	12,618	12,115	50,138	12,231	12,400	13,814	13,668	52,114
情報登録・掲載料	4,934	5,082	5,324	5,072	20,413	5,038	5,192	5,261	5,251	20,744	5,062	5,477	5,496	5,786	21,822
情報提供料	3,604	3,174	2,890	3,605	13,273	7,685	7,488	7,356	6,864	29,394	7,169	6,923	8,317	7,882	30,292
生活関連情報	925	1,175	980	755	3,837	828	942	896	873	3,541	822	882	919	1,042	3,665
不動産	42	40	41	39	163	41	43	43	39	167	35	36	35	36	144
その他	91	127	183	195	597	215	248	237	211	913	180	232	298	303	1,014
営業利益	1,585	1,382	1,218	23	4,209	1,326	1,130	1,165	1,114	4,735	1,105	1,344	1,424	1,475	5,350
自動車関連情報	1,932	1,787	1,719	476	5,916	1,752	1,473	1,559	1,432	6,217	1,536	1,688	1,764	1,767	6,756
生活関連情報	52	58	32	△ 12	131	37	81	52	76	248	45	98	106	159	409
不動産	24	21	23	16	85	23	22	21	2	69	△ 6	21	22	24	62
その他	△ 55	△ 73	△ 121	△ 73	△ 323	△ 58	△ 40	△ 45	2	△ 140	△ 6	7	△ 25	△ 23	△ 48
管理部門	△ 369	△ 411	△ 435	△ 383	△ 1,599	△ 428	△ 407	△ 424	△ 398	△ 1,659	△ 463	△ 471	△ 443	△ 451	△ 1,830

補足資料

会社概要



社名
創業
設立
資本金
発行済株式総数
本社
支社
事業年度末
社員数
上場取引所
連結子会社

株式会社プロトコーポレーション
1977年10月1日
1979年6月1日
1,824,620,000円（2014年6月30日現在）
20,940,000株（2014年6月30日現在）
〒460-0006 名古屋市中区葵一丁目23番14号
〒113-0033 東京都文京区本郷二丁目22番2号
札幌、仙台、高崎、長野、浜松、名古屋、金沢、大阪、広島、松山、福岡、熊本
(全国57拠点)
3月31日
連結:1,340名（2014年6月30日現在）
単体: 679名（2014年6月30日現在）
東京証券取引所JASDAQスタンダード（2001年9月12日 上場）
1.株式会社プロトリオス
2.株式会社プロトデータセンター
3.株式会社プロトメディカルケア
4.株式会社バイクプロス
5.株式会社カークレド
6.株式会社キングスオート
7.株式会社オートウェイ
8.PROTO MALAYSIA Sdn. Bhd.
9.SMT Media Pte. Ltd. ※清算手続き中
10.台湾寶路多股份有限公司
11.PT. PROTO INDONESIA ※清算手続き中
(2014年7月31日現在)



月刊中古車通信 1977年創刊

1.株式会社プロトリオス	【2002年10月子会社化】	(議決権所有割合:直接 100%)
2.株式会社プロトデータセンター	【2007年 4月設立】	(議決権所有割合:直接 100%)
3.株式会社プロトメディカルケア	【2009年10月子会社化】	(議決権所有割合:直接 100%)
4.株式会社バイクプロス	【2010年 4月子会社化】	(議決権所有割合:直接 100%)
5.株式会社カークレド	【2012年 2月設立】	(議決権所有割合:直接 100%)
6.株式会社キングスオート	【2012年 4月子会社化】	(議決権所有割合:直接 100%)
7.株式会社オートウェイ	【2013年 4月子会社化】	(議決権所有割合:直接 100%)
8.PROTO MALAYSIA Sdn. Bhd.	【2011年 9月子会社化】	(議決権所有割合:直接 100%)
9.SMT Media Pte. Ltd.	※清算手続き中 【2011年 9月子会社化】	(議決権所有割合:間接 100%)
10.台湾寶路多股份有限公司	【2011年12月設立】	(議決権所有割合:直接 100%)
11.PT. PROTO INDONESIA	※清算手続き中 【2012年12月設立】	(議決権所有割合:直接 75%、間接 25%)

■ ユーザーからの安心・信頼を高めるサービスを拡充し、競合との差別化を図る

Goo鑑定(鑑定証付き車両)



車両状態情報の開示

Goo鑑定の概要と図解(一例)

- フロントガラスの飛び石などによるキズをチェック
- ハンドルやダッシュボード、メーター類のチェック
同時に異臭やシートの汚れ、破れなども確認
- エンジンルームのオイルや冷却水の濡れのチェックに加え、異音などを確認
- アイドリング時やアクセル時にエンジンにカラカラ音などの異音が無いか確認
- トランスミッションの変速ショックの確認
- 骨格の修復歴を確認
修復済みの場合、その程度もチェック
- ピラーに修復跡が無いかを確認
- パワーウィンドウが正常動作するかを確認
- リアトランクの下をチェックし、修理跡や波うちが無いかを確認
- 外装のキズや塗装の状態を確認
- マフラーの状態を確認
異常音の有無や排気をチェック
- ホイールのキズやタイヤの溝をチェック
- 外板に隠れた骨格部分を徹底確認

Goo鑑定3つのポイント

Goo鑑定のポイント ①

第三者の鑑定師がチェック!

第三者機関の日本自動車鑑定協会(JAAA)の鑑定師が中古車を鑑定。プロが一台一台チェックします。

公正!

Goo鑑定のポイント ②

外装・内装・機関・修復歴について評価

外装・内装・機関・修復歴の4項目について鑑定を行っています。見た目からは判断がつかない箇所も入念にチェックしています。

納得!

Goo鑑定のポイント ③

鑑定証付き

鑑定した外装、内装、機関、修復歴のそれぞれについて評価を定めます。もちろんござんがあれば鑑定証は発行されません。

分かりやすい!



ステップ ① Goo鑑定車一覧ページ



一覧ページで、Goo鑑定付きの車両には、Goo鑑定車の表示がされています。

ステップ ② Goo鑑定車詳細ページ



詳細ページからはGoo鑑定証(サンプル)を見ることができます。

ステップ ③ Goo鑑定証ページ



Goo鑑定の拡販により、ユーザーがより安心・信頼してクルマ選びが出来る環境を整備する

■ ユーザーからの安心・信頼を高めるサービスを拡充し、競合との差別化を図る

GooPLUS

気になる7つのパーツが新品!

グープラス

GooPLUS

Goo鑑定

Goo鑑定車3つのポイント

- 1.中古車の状態を第三者機関のプロの鑑定師がチェック!
- 2.中古車の状態を隅々まで確認し、外装・内装・機関・修復歴を評価!
- 3.鑑定済のクルマには状態がわかる鑑定書が付きます!

オイルフィルター

エンジンの内部をキレイに保つには、定期的な交換を!

エンジンオイル

愛車を長持ちさせるには、エンジンオイルの交換は大切です。

バッテリー

エアコン・ヘッドライトの使用など、意外と酷使しています。

エアコンフィルター

エアコンのニオイもスッキリ! 長期間交換しないと燃費悪化や風量低下を招きます。

消臭

光触媒を使った消臭剤で車内清掃。気になるウイルスや菌も徹底分解で安心。

タイヤ

走る、曲がる、止まる。安全走行にはタイヤ点検は大切です。

フロアマット

足元スッキリで快適ドライブ!

不安を解決! GooPLUS(グープラス)なら信頼・納得のGoo鑑定車に**気になる7つのパーツが新品!**

GooPLUSとは?

プロの鑑定師が中古車の車検状態を鑑定した“Goo鑑定車”に、さらに中古車を購入する際に気になる7つのパーツが、全て新品で付いてくるお得なパッケージです。対象パーツは全て新品で、すぐに交換の心配がないから安心してお乗り頂けます。

もちろん価格は車輦本体価格に含まれているので安心です!!

GooPLUS(Goo鑑定+消耗品パッケージ)

中古車の安全性・快適性の改善

成約率の向上

GooPLUSの拡販により、ユーザーがより安心・信頼してクルマ選びができる環境を整備する

■ 整備工場検索サービスの提供により、カーライフにおけるユーザー接点の拡大を推進する

GooPit(車検から車の修理・整備・点検まで、車整備専門店検索GooPit)



車検・整備工場の検索なら
GooPit
車検、オイル交換、整備・修理など、
愛車のメンテナンスにお悩みなら
GooPitで検索!!

POINT 1

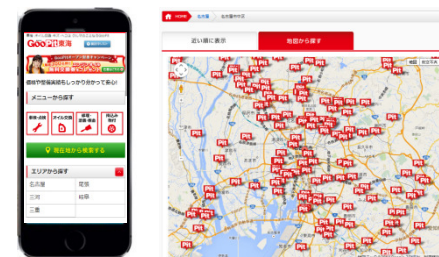
お近くの整備工場を
手軽に検索!

POINT 2

東海地区の車検・
整備情報を網羅!

POINT 3

充実した店舗情報で、
細かな比較検討が可能!



東海3県(愛知・三重・岐阜)において、2013年12月20日 サイトオープン
加盟工場から広告料を戴く 広告モデル

GooPitにより整備業界への参入を図り、取引社数の拡大を推進する

中古車の流通フローと当社グループの主な商品・サービス



■ 中古車流通の上流から下流までを網羅し、ニーズに即した商品・サービスの開発・提供を推進

事業領域①

売りたい人



買取 70万台 下取り 210万台 下取り 40万台

リース会社
(リースアップ車両)

中古車買取専門店

新車ディーラー

出品 50万台 出品 60万台 出品 130万台

事業領域②

中古車オークション会場、入札会

出品 20万台 仕入 115万台

事業領域③

中古車販売店

輸出用落札 85万台 輸出 5万台 小売 10万台 小売 130万台 小売 90万台

海外市場

買いたい人
(海外)

買いたい人
(国内)



事業領域①

Data Line PRO、自動車メーカー向け基本価格データ
オークション落札価格・小売価格などの相場データを提供

Data Line 査定、e-satei

法人向けに中古車査定価格算出システムを提供

事業領域②

Goo-net 自動車流通、自動車流通新聞

自動車関連事業者向けに流通市場の動向をweb・紙面にて提供

事業領域③

Gooシリーズ(PC/モバイル/情報誌)

欲しいクルマを検索・見積り

MOTOR GATE(Goo-netバックグラウンドシステム)

販売管理、在庫管理、顧客管理ツール等を提供

Goo鑑定

第三者機関が鑑定した車両状態を開示

Goo-net Exchange

販売店の中古車輸出をサポート

※(株)矢野経済研究所『中古車流通総覧 2012年版』を基に作成(2011年における中古車流通フロー)
※業販市場と中古車販売店の仕入販売台数は在庫替用の仕入販売台数を除く。 ※解体市場データ除く。

情報誌事業

情報登録・掲載料 (1)

課金体系: 1ページ当たりの広告掲載料

* 基本広告掲載料 (情報誌・PC・モバイルのセット販売)

情報提供料

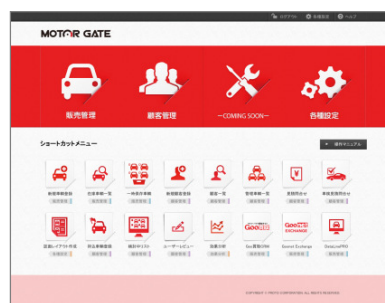
情報誌の販売



例) Goo首都圏版

ページ単価: 約7.3万円 ∴ 月2回広告掲載した場合(1P×2回)の基本広告掲載料: 約14万円

※平均顧客単価/月: 約22万円(2014年3月期実績)



MOTOR GATEの主な機能

販売管理機能

- ・新規車両登録
- ・在庫車両管理
- ・Goo-net掲載管理
- ・問合せ管理

データ分析機能 ・書類作成機能

- ・各種アクセス解析
- ・POP作成
- ・見積書作成
- ・登録申請書類作成
- ・陸送手配書類作成

顧客管理機能

- ・顧客情報管理
- ・商談管理
- ・車検情報管理
- ・任意保険管理
- ・顧客車両管理等

MOTOR GATE : Goo&Goo-netのバックグラウンドシステム (中古車販売店マネジメントシステム)

IT事業①

情報登録・掲載料 (2)

Goo-netのインターネットオプション (MOTOR GATE)

※ 本資料に記載の金額は、全て百万円未満を切り捨てて表示しております。

■ 将来予測について

本資料で提供されているIR情報には、将来の見通しに関する情報が含まれています。これら歴史的事実以外の情報は、当社グループが属する業界の競争、市場、諸制度に係るリスクや不確実性による影響を受ける可能性があります。その結果、当社が現時点で把握可能な情報から判断した仮定及び推測に基づく見込みは、将来における実際の成果及び業績とは異なる場合があります。ご承知おきください。

■ お問い合わせ先

株式会社プロトコーポレーション
名古屋市中区葵一丁目23番14号
TEL 052-934-1519 FAX 052-934-1750
<http://www.proto-g.co.jp/>
4298ir@proto-g.co.jp
IR担当／経営企画室 鈴木